



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 雅文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 奥平 和良

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,654	△7.4	663	△47.1	683	△46.3	580	△52.7
23年3月期第2四半期	11,511	0.5	1,254	309.8	1,272	280.6	1,227	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 644百万円 (△47.3%) 23年3月期第2四半期 1,224百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	30.03	—
23年3月期第2四半期	63.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,055	19,210	79.9
23年3月期	24,212	19,241	79.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,210百万円 23年3月期 19,241百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△0.7	1,300	△14.6	1,330	△15.1	1,050	△35.5	54.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	21,034,950 株	23年3月期	21,034,950 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,868,802 株	23年3月期	1,658,643 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	19,340,672 株	23年3月期2Q	19,376,458 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や福島原子力発電所の事故の影響による生産活動の停滞や消費マインドの冷え込み、加えて世界経済の景気不安による円高の進行や株価の低迷などにより、国内景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社企業グループは、国内外における「美と健康」の事業領域を中心とし、人々の日々の生活に新たな『豊かさの基準』を提供する企業として、積極的に事業活動を行ってまいりました。しかしながら、中核事業である国内レディースインナー等販売事業において、前半は震災に起因するビジネスメンバーの販売活動の鈍化が業績に影響しつつも、後半ではその販売活動における立ち直りを見せましたが、前半における売上高の落ち込みを補うまでには至らず、売上高は前年実績を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は106億54百万円（対前年同四半期比7.4%減）、営業利益は6億63百万円（同47.1%減）、経常利益は6億83百万円（同46.3%減）、四半期純利益は5億80百万円（同52.7%減）となりました。

#### (国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、“毎日の暮らしに「心おどる感動」と「心やすらぐ安心」を。”を長期的なビジョンに掲げ、「下着のシャルレ」から「美と健康のシャルレ」へとコーポレートブランドイメージのシフトを目指して、研究開発機能を強化し、より多くのお客様に喜んでもらえるために独自性のある商品の提供に積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきまして、ファンデーション類については、健康関連分野の商品である夏用の腰サポートガードル「サポトレサマー」は、4月の発売より引き続き好調に推移し、売上に大きく貢献しました。また、発売より多くのおお客様にご愛用頂いている当社の基幹商品である「Cシリーズ」のブラジャー（FA023）の発売30周年を記念し、販売促進を目的とした「Cシリーズご愛顧感謝プレゼントキャンペーン」を7月から8月にかけて実施しました。結果として、「Cシリーズ」商品全体の売上高は好調に推移し、前年実績を上回りました。肌着・ショーツ類については、毎年好評を頂き、今年は2パターンにて展開しました5色ショーツ「5daysショーツ」を7月に発売し、好調に推移しました。アウター類については、着用感とデザイン性を重視した「シャルレ ドレッセ シリーズ」を秋冬シーズンに向けて9月より順次発売しております。化粧品類については、基礎化粧品ブランドである「エタリテ」の愛用者の維持・拡大を目的に、「エタリテ フレディアス キャンペーン」、および「エタリテ オータムスポット2011」を7月から9月にかけて実施しましたが、販売は低調に推移しました。

営業施策面におきまして、期初よりビジネスメンバーの育成力強化を図るための活動支援を積極的に行い、ビジネスメンバーの新規参画トレンドに改善の兆しが見えてきました。また、7月には前期に実施した「シャルレ チャレンジコンテスト2010」の入賞者を対象に、中国（上海）にて「シャルレ 上海特別セミナー2011」を行い、会社方針の共有化を図るとともに、活動意欲の喚起を図りました。9月から11月にかけては、ビジネスメンバーのチャレンジ意識および活動意欲の促進を目的に、「シャルレ チャレンジコンテスト2011」を実施しております。一方、基礎化粧品ブランドである「エタリテ」については、ビジネスメンバーを対象に、販売スキルの向上を目的とした販売教育の強化を継続的に行っております。

このように積極的な事業展開を行ってまいりましたが、震災の影響により、前半はビジネスメンバーの活動が鈍化したこと、また後半は下着類を中心とした販売活動の立ち直りを見せつつも、化粧品類の販売が低調に推移したこと等により、国内レディースインナー等販売事業の売上高は、102億25百万円（対前年同四半期比9.6%減）となり、営業利益は9億20百万円（同39.8%減）となりました。

#### (海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を上海の旗艦店を中心に、17店舗で行ってまいりました。また、現地の消費者ニーズを反映した新商品の開発・販売、および現地販売スタッフの教育強化に積極的に取り組んでまいりました。販売状況については、定番商品を主としたプロモーションを重点的に行った結果、既存顧客によるリピート購入が増加し、前年を上回る売上高となりました。しかしながら、利益面では現地の本部経費等を吸収するまでには至りませんでした。

これらの結果、売上高は60百万円（同46.8%増）となりましたが、営業損失は50百万円（前年同四半期は57百万円の営業損失）となりました。

#### (LED照明販売事業)

LED照明販売事業におきましては、東日本大震災の影響による節電対策や各電力会社が検討している公衆街路灯の新料金体系により、今後LED化が益々進むと予測される環境の中、企業や自治体に対して、節電や環境に配慮した、より豊かな次世代社会を提案するために、積極的な営業活動を行ってまいりました。7月から8月にかけては、初期導入コストを不要とした「水銀灯代替LED導入支援キャンペーン」を実施しました。また、9月には、発光効率水準の高い新製品「Classic Light Tube」を発売するとともに、その発売を記念した、期間限定の特別価格帯による「導入支援Wキャンペーン」を9月より開始しております。

これらの結果、売上高は2億60百万円（同123.0%増）となり前年実績を上回りましたが、営業体制の強化による経費の増加等により、営業損失は1億49百万円（前年同四半期は1億7百万円の営業損失）となりました。

（情報サービス事業）

情報サービス事業におきましては、タッチ式ボイスリーダーペン（U－S P E A K）を教育用ツールとして、アジア圏での普及と販路の開拓に引き続き注力したことにより、海外販売が伸長したため、売上高は大きく上回り、営業損失は減少しました。

これらの結果、売上高は1億8百万円（同191.7%増）、営業損失は8百万円（前年同四半期は55百万円の営業損失）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債および純資産の状況

総資産は、現金及び預金の減少9億79百万円、商品の増加12億38百万円、無形固定資産の減少1億4百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少して240億55百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加6億51百万円、未払金の減少7億16百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少して48億45百万円となりました。

純資産は、四半期純利益5億80百万円、利益配当金5億81百万円等により、前連結会計年度末と比較して30百万円減少し、192億10百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の79.5%から79.9%に上昇しました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間に比べ1億90百万円増加し、34億57百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億34百万円の減少（前年同四半期は16億45百万円の増加）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額12億30百万円、税金等調整前四半期純利益5億88百万円、仕入債務の増加額6億51百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億12百万円の増加（同2億6百万円の減少）となりました。主な要因は、定期預金の減少額2億99百万円、有形固定資産の取得による支出1億62百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入1億55百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億76百万円の減少（同1億88百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払額5億82百万円であります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（在外子会社の収益および費用の換算方法の変更）

在外子会社の収益および費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。そのため、前第2四半期連結累計期間と当第2四半期連結累計期間で、在外子会社等の損益の換算方法が異なっております。

これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,028	8,049
受取手形及び売掛金	245	128
有価証券	2,467	2,398
商品	3,556	4,794
貯蔵品	57	47
繰延税金資産	678	678
その他	319	267
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	16,347	16,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373	1,516
土地	907	907
その他（純額）	301	110
有形固定資産合計	2,583	2,534
無形固定資産		
のれん	217	205
その他	567	474
無形固定資産合計	784	679
投資その他の資産		
投資有価証券	2,322	2,378
前払年金費用	1,138	1,071
繰延税金資産	260	260
その他	788	787
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	4,496	4,484
固定資産合計	7,864	7,698
資産合計	24,212	24,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940	1,591
未払金	1,651	934
未払法人税等	21	26
賞与引当金	358	339
その他	385	276
流動負債合計	3,356	3,168
固定負債		
売上割戻引当金	207	212
退職給付引当金	1,392	1,452
その他	14	12
固定負債合計	1,614	1,676
負債合計	4,971	4,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,528	12,528
自己株式	△1,201	△1,295
株主資本合計	19,825	19,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△521	△458
為替換算調整勘定	△63	△61
その他の包括利益累計額合計	△584	△520
純資産合計	19,241	19,210
負債純資産合計	24,212	24,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	11,511	10,654
売上原価	5,683	5,235
売上総利益	5,827	5,419
販売費及び一般管理費	4,573	4,755
営業利益	1,254	663
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	0	0
雑収入	12	16
営業外収益合計	27	30
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	2	5
社宅解約損	—	1
持分法による投資損失	6	3
その他	0	0
営業外費用合計	9	11
経常利益	1,272	683
特別利益		
持分変動利益	99	—
特別利益合計	99	—
特別損失		
固定資産除却損	1	8
投資有価証券評価損	3	—
たな卸資産評価損	180	—
災害による損失	—	86
特別損失合計	185	94
税金等調整前四半期純利益	1,185	588
法人税、住民税及び事業税	△21	7
法人税等調整額	28	—
法人税等合計	6	7
少数株主損益調整前四半期純利益	1,178	580
少数株主損失(△)	△48	—
四半期純利益	1,227	580

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,178	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	62
為替換算調整勘定	△13	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	1
その他の包括利益合計	45	63
四半期包括利益	1,224	644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,272	644
少数株主に係る四半期包括利益	△48	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,185	588
減価償却費及びその他の償却費	199	212
受取利息及び受取配当金	△14	△13
固定資産除却損	1	8
持分変動損益(△は益)	△99	—
売上債権の増減額(△は増加)	△32	117
たな卸資産の増減額(△は増加)	1	△1,230
前払年金費用の増減額(△は増加)	22	67
仕入債務の増減額(△は減少)	413	651
未払金の増減額(△は減少)	△180	△568
前受金の増減額(△は減少)	8	68
未払消費税等の増減額(△は減少)	25	△148
災害損失	—	86
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56	59
その他	127	27
小計	1,716	△74
利息及び配当金の受取額	18	13
災害損失の支払額	—	△116
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90	43
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,645	△134
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	1,399	299
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	155
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△995	—
有形固定資産の取得による支出	△111	△162
無形固定資産の取得による支出	△85	△39
事業譲受による支出	△410	—
その他	△3	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	212
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△387	△582
少数株主からの払込みによる収入	199	—
自己株式の取得による支出	△0	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188	△676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,235	△598
現金及び現金同等物の期首残高	2,031	4,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,266	3,457

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内レ ディース インナー 等 販売事業	海外レ ディース インナー 等 販売事業	LED 照明販売 事業	情報サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,315	41	116	37	11,511	—	11,511	—	11,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	9	—	15	—	15	△15	—
計	11,321	41	125	37	11,526	—	11,526	△15	11,511
セグメント利益又は損失(△)	1,529	△57	△107	△55	1,308	△0	1,308	△54	1,254

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用54百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「LED照明販売事業」セグメントにおいて、事業譲受に伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれん241百万円が発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内レディ ースイ ンナー等 販売事業	海外レディ ースイ ンナー等 販売事業	LED 照明販売 事業	情報サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,225	60	260	108	10,654	—	10,654	—	10,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	—	—	—	9	—	9	△9	—
計	10,234	60	260	108	10,664	—	10,664	△9	10,654
セグメント利益又は損失（△）	920	△50	△149	△8	711	△0	711	△47	663

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用48百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。